月刊 しばうら

2017 年 3 月号

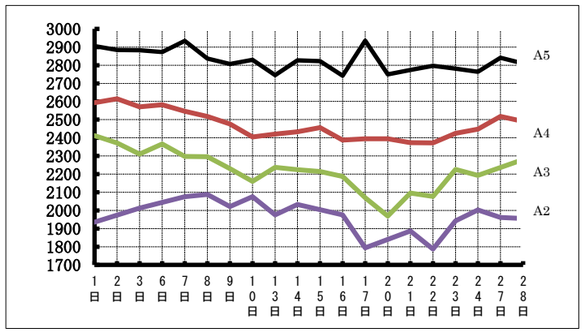
大動物事業部

＜2 月の相場動向＞

和牛去勢 A5 が前月比 53 円安の 2,831 円（前年同月比では 1 円安）と、もちあい圏内の値動きであった。同 A4 が前月比 110 円安の 2,470 円（同 149 円安）、同 A3 は 149 円安の 2,226 円（同 240 円安）、同 A2 は 172 円安の 1,972 円（同 356 円安）と 4 等級以下は前月・前年実績を大きく下回る枝肉相場となった。

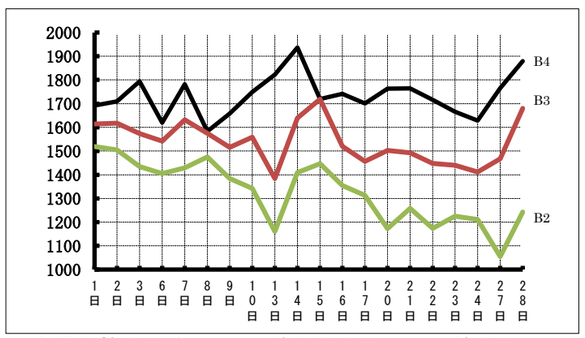
交雑牛も前月の枝肉相場より、特に B3（104 円安）・B2（135 円安）等級で和牛と同様に急落している。月を通じて出荷頭数は少ない中で外食産業は順調に推移いているものの、末端需要の落ち込みは大きく予想以上に牛枝肉相場を下回る相場動向となった。

和牛去勢　日別相場表（2 月）



和牛去勢月平均		前年同月比	前月比
A5	2,831 円	100.0%	98.2%
A4	2,470 円	94.3%	95.7%
A3	2,226 円	90.3%	93.7%
A2	1,972 円	84.7%	92.0%

交雑去勢　日別相場表（2 月）



交雑去勢月平均		前年同月比	前月比
B4	1,733 円	98.4%	96.7%
B3	1,542 円	97.5%	93.7%
B2	1,336 円	96.6%	90.8%

乳牛去勢月平均		前年同月比	前月比
B3	上場なし	―	―
B2	983 円	125.7%	101.4%

＜3 月の全国出荷頭数予測＞

農畜産業振興機構による 3 月の出荷予測頭数は、前年同期比 2.9%増の 8 万 7,500 頭と予測している。品種別にみると和牛は 1.5%増の 3 万 5,100 頭、交雑種は 15.6%増の 2 万 400 頭、乳用種は 2.7%減の 3 万 600 頭としている。交雑種は、2, 3 月とも増加で 3 月は 16%近い急増と予測している。また、同畜産需給部は 17 年 1 月から 6 月のと畜頭数見込みを家畜改良センターの牛個体識別情報から算出して発表した。それによると、和牛・乳用種は減少、交雑種は増加と見込んでおり、合計では前年同期比で 1%増と見込んでいる。特に 3 月以降は、交雑種の増加が全体をけん引するほか、3 月から 5 月のと畜場稼働日数が前年同月を上回ると見込まれるためである。東京食肉市場の 3 月のと畜頭数は 7,150 頭を予定しています。

＜3 月の牛枝肉相場見通し＞

今月も出荷頭数は少ない状況で、現状の末端需要の動きなどから早期回復は見込めず、また例年ならば月後半には催事需要等へ期待するところではあるが、好材料としては少なく相場動向としては前月水準で推移すると予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,800～2,900	B4	1,700～1,800
A4	2,450～2,550	B3	1,600～1,700
A3	2,200～2,300	B2	1,400～1,500
A2	2,000～2,100		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,150		
B2	950～1,050		

＜3 月の牛肉輸入量予測＞

財務省が発表した貿易統計による 1 月の牛肉輸入通関実績は、前年同月比 26.7%増の 3 万 4,717t と前年を上回った。

チルドは 23.1%増の 1 万 7,464t、フローズンは 30.6%増の 1 万 7,253 t で、チルド・フローズンともに昨年 12 月からそれぞれ 5,000 t 前後減っているものの、米国産の伸長などにより前年同月比では 2 割・3 割増しの大幅増加となっている。フローズンは前年同月が 1 万 3,000 t と在庫調整局面にあったことから、その反動で大きな伸びとなっている。

農畜産業振興機構の予測による 3 月の牛肉輸入数量は前年比 6.5%増の 3 万 8,500 t と予測している。チルドは米国産の増加などから 7%増の 1 万 8,300 t 、フローズンも増加見込みで 6.3%増の 2 万 200 t と予測している。

輸入牛肉通関量		1 月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,631	7,716	98.9%
	米国	9,025	5,595	161.2%
	その他	808	866	93.3%
	合計	17,464	14,182	123.1%
フローズン	豪州	10,273	5,386	122.5%
	米国	5,016	3,531	142.1%
	その他	1,964	1,297	154.4%
	合計	17,253	13,214	130.6%

単位：t　　出典：食肉速報

小動物事業部

食肉流通統計によると、1 月の全国と畜頭数は 139 万 5,562 頭（前年同月比 103.4%）となり前年より増加した。

また、1 月分の豚肉通関実績は、総量で 7 万 5,763t（前年同月比 103.2%）と前年より上回った。 うちチルドが 3 万 220 t（同 106.1%）で内訳は、米国が 1 万 7,060 t（同 100.1%）、カナダは 1 万 2,192 t （同 116.4%）、メキシコが 965 t （同 99.0%）となった。フローズンは 4 万 5,543 t （同 101.3%）と前年を上回り、デンマークが 1 万 1,089 t（同 112.4%）、メキシコが 5,527 t（同 102.1%）米国が 5,641 t（同 140.4%）、カナダが 3,328 t （同 113.6%）となった。

＜2 月の豚取引の推移＞

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1 日	62,900	528	510	789
2 日	65,500	529	524	853
3 日	65,000	545	530	1,063
6 日	63,700	556	546	779
7 日	65,500	567	551	1,079
8 日	64,200	549	521	726

上旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 4,400 頭と前年を下回る頭数であった。当市場においても平均 880 頭と前年を下回る上場頭数であった。

2 月となり消費の端境期を向かえる季節となったが、全国頭数が予想外に伸びてこなかった為、各市場の相場は想定以上の値を付ける状況となった。

当市場は中物で 500 円以上の値をつけ、上中格差の少ない相場展開であった。

荷動きは引き続きバラは強く、逆に肩ロースが鈍くなり、値も下げた。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
9 日	64,500	538	514	887
10 日	64,500	512	488	954
13 日	65,100	503	484	724
14 日	66,400	491	453	923
15 日	62,000	491	469	724
16 日	65,700	487	466	794
17 日	66,600	493	467	788

中旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 5,000 頭と前年を下回った。当市場も 1 日平均 830 頭と前年を下回った。

部分肉ベースでみると各パーツの価格は概ね堅調に推移しており、特にヒレ・バラの上昇が目立った。

一方、末端消費の動きは予想通り鈍い状況であり、価格と需要のバランスが乖離する状態となった。

当市場の上物平均価格 500 円台をキープする展開であった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
20 日	64,300	479	457	816
21 日	65,000	492	474	907
22 日	63,800	503	484	658
23 日	65,600	496	480	759
24 日	63,300	527	513	727
27 日	62,500	554	550	568
28 日	64,100	565	543	836

下旬の全国と畜頭数は、平均 6 万 4,000 頭と前年を下回った。当市場の上場頭数も平均 750 頭と前年を下回った。

相場を振り返ると瞬間的に落ち込む場面（上物 479 円）も見られたが月末の手当に向けて堅調で尻上がりに終わる結果となった。（上物 565 円）

しかしながら荷動きはバラ以外の部位は総て鈍い状況であった。このため売れ行きと実勢価格に大きな開きが生じる形となった。

＜3 月の豚枝肉相場見通し＞

農水省による 3 月の全国と畜頭数は、146 万 8,000 頭（前年同月比 102.0%）と予測しており、一日当たりの頭数は約 6 万 6,700 頭である。当市場の 3 月の集荷予定頭数は 1 万 8,000 頭となっており、一日当たりでは約 820 頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構による 3 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 500 t（前年同月比 97.9%）の予測となっている。内訳はチルドが 2 万 9,700 t（同 92.6%）、フローズンは 4 万 800 t（同 102.2%）の予測である。

また 12 月における豚肉推定在庫量は、国産品が 1 万 6,800 t（前年同月比 104.0%）、輸入品は 14 万 5,437 t（同 105.5%）となり合計 16 万 2,237 t（同 105.4%）となった。推定出回り量は 15 万 6,000 t（前年比 101.5%）で前年を上回った。うち国産品は 7 万 9,793 t（同 100.7%）輸入品は 7 万 6,207 t（同 103.9%）であった。国内生産量は 8 万 498 t（同 99.8%）と前年を下回った。

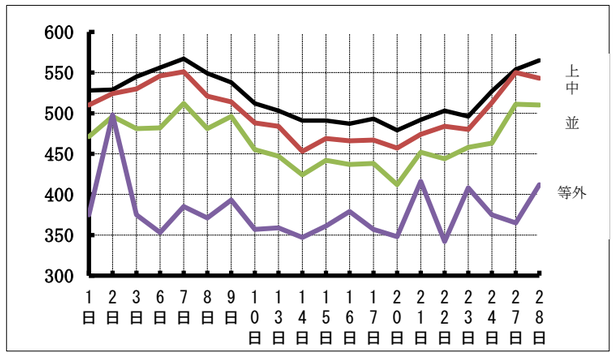
3 月は例年、行事や花見等のイベント需要を中旬以降に向かえるが、それは同時に学校給食の終わる時期でもある。

最近の全国出荷動向をみると、依然伸び悩みそうな気配があり、関東近辺の状況をみても当市場の集荷状況は厳しくなると予測している。

一方、輸入物の通関遅れの影響が解消されつつあるなかで比較的相場は堅調に推移しており、決算期であることも勘案すると 3 月の相場展開は非常に読みづらいのが実情である。

以上のような背景が予想されるが、当市場の上物平均価格は 515 円。中物平均価格は 490 円と予測する。

豚　日別相場表（2 月）



出荷者の皆様へ

ＰＥＤをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南２―７―１９

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL http://www.tmmc.co.jp/